マスプロ MASPRO CATV

CATV 屋外(内)用 VUブースター

VU BOOSTERS

TVch1～62 & FM

WA30

AC100V方式

WA30T

低電圧方式(AC24V)

30dB型

WA30T

WA30Tの適合電源部

型　　式	WA30T使用台数
WP2	1台
WP2405f	2台の縦続接続
WP5	

高性能，高信頼

超低雑音 ―― 雑音指数(NF)が1.9～3dBですから，弱電界地域でもスノーノイズの目立たない，きれいなテレビが見られます。

定格出力 VHF 95dBμ UHF 100dBμ ―― 電波の比較的強い地域でのホーム共同受信用としても使用できます。

利得調整回路 ―― 各バンド別に利得調整ができますから，後段に接続するブースター，または，テレビの入力レベルが最適値に調整できます。

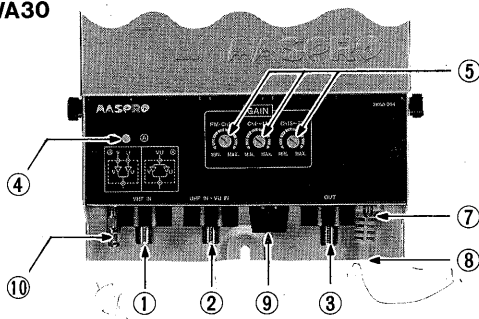
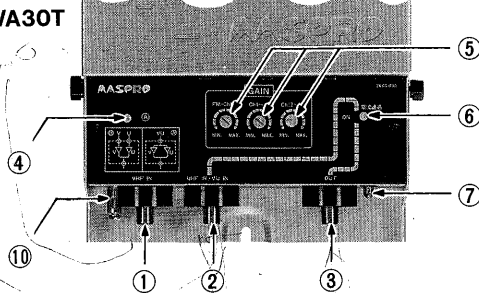
㊀20～㊉50℃の温度変化に対して，利得変動がほとんどなく，常に安定した動作をします。

使い易い機能

ヘッド・ライン両用 ―― 入力切換スイッチによって，VとU 別入力，およびVU混合入力の両方に使い分けることができますから，ヘッド(受信点)用・ライン(中継点)用のどちらでも使用できます。

姉妹機として，36dB型VUブースターWA36S(AC100V方式)，WA36TS(低電圧方式)があります。

昭和61年11月

各部の名称と機能

①VHF入力端子
- Vと U 別入力のときのVHF入力端子です。
- VU混合入力のときは使用しませんので，付属の防水キャップ(小)をかぶせてください。

②UHF・VU混合入力端子
- Vと U 別入力のときのUHF入力端子です。
- VU混合入力のときの入力端子です。

③出力端子

④入力切換スイッチ
- VU混合入力のときはⒶ，Vと U 別入力のときはⒷに切り換えてください。

⑤利得調整ツマミ(⊖10dB連続可変)
- 出力レベルを調整して，後段に接続するブースター または テレビの入力レベルを，最適値に調整してください。

⑥電流通過スイッチ(WA30T)

⑦パイロットランプ

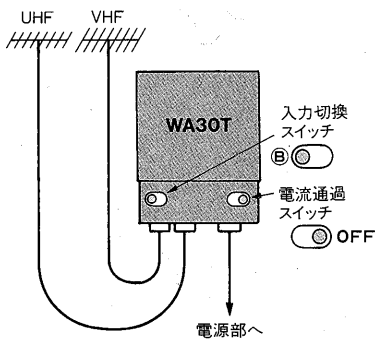
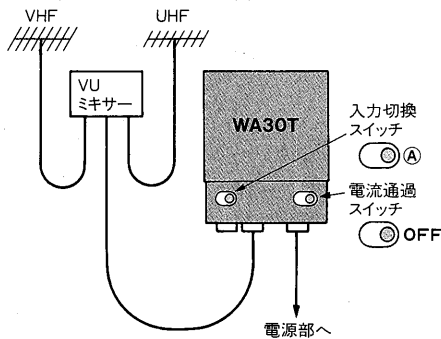
⑧AC100V電源コード(約1m)(WA30)
- コードを延長するために，途中で切断して，別のコードをつなぐことは，電気設備技術基準で禁じられています。

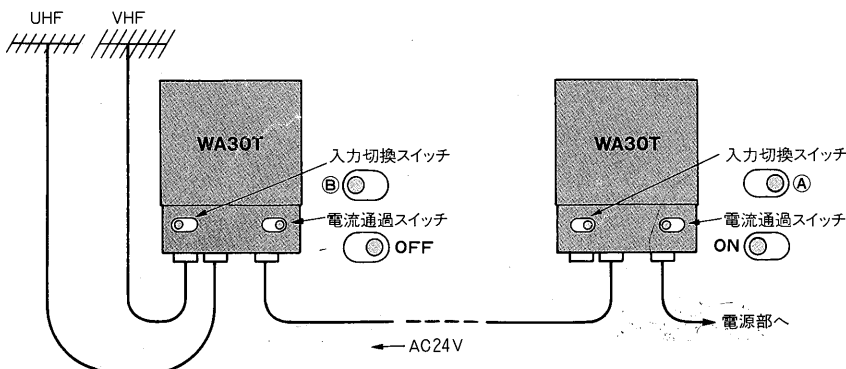
⑨ヒューズホルダー(ミゼット管型ヒューズ0.5A)(WA30)
- ヒューズが溶断した場合は，定格のものと交換してください。

⑩アース端子
- 第３種接地工事(接地抵抗100Ω以下)をしてください。

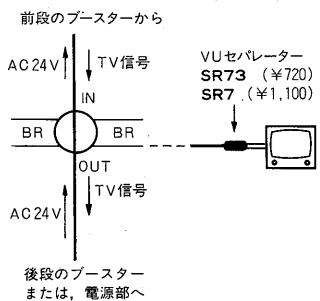
入力切換・電流通過スイッチの操作方法

(入力切換スイッチの操作方法は両機種とも同じです。AC100V方式のWA30は，幹線の電源重畳はできません。)

1台の場合　電源部はWP2(¥5,900)を使用してください。

電源部については，WP2の取扱説明書をご覧ください。

2台の場合　電源部はWP2405f(¥7,600)またはWP5(¥9,400)を使用してください。(WP2は縦続接続に使用できません)

電源部については，それぞれの取扱説明書をご覧ください。

低電圧を重畳している幹線ケーブルからTV信号を取り出すときは，必ず電流通過型の分岐器・分配器を使用してください。

4分岐器を使用した例

実用入力レベルについて

２台を縦続して使用する場合は，一層の安定性を確保するため，下記の範囲で使用してください。

ブースター使用台数	VHF・UHF
	最小入力(がまん限)〜最大入力レベル
１台	35〜70dBμ
２台の縦続接続	38〜67dBμ

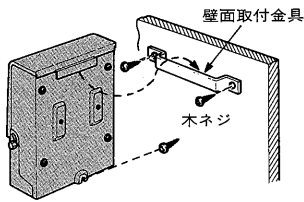
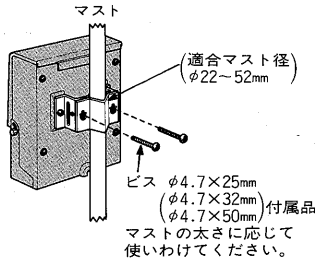
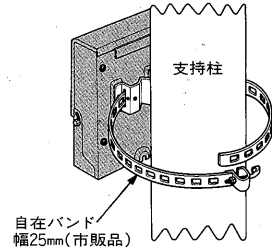
最小入力レベル以下で使用した場合

スノーノイズ(画面に雪が降るような症状)が目立つようになり，鮮明な画像が得られません。

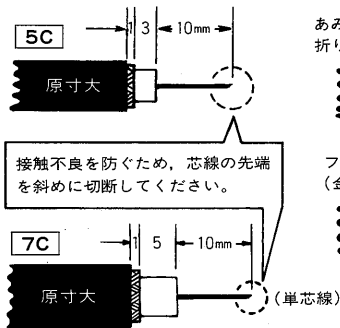
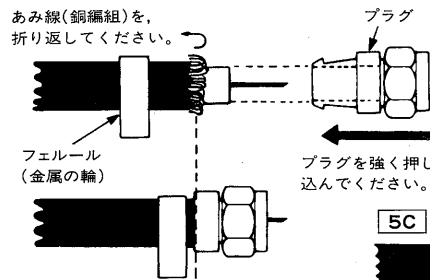
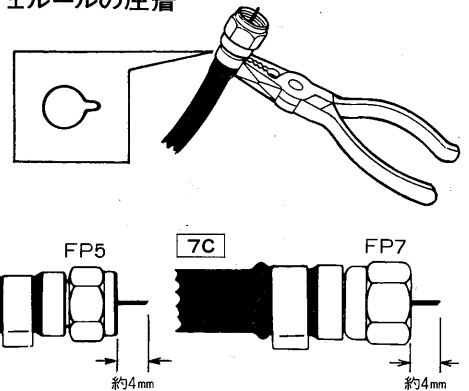
最大入力レベル以上で使用した場合

相互変調によるビート縞，混変調によるワイパー現象(画面を横に拭いていくような，太い帯模様)が発生し，見苦しい画像となります。

取付方法

板壁面の場合

マストの場合

支持柱の場合

F型コネクター(プラグFP5)の取付方法

●接触不良や，ショートを防ぐため，プラグはていねいに取り付けてください。

●加工する前に，必ず防水キャップに通してください。　●FP7(￥210)は7C用です。

正しく使用していただくために

よい画質が得られないときは，次のチェックをしてください。

画像が出ない場合，または，著しくスノーノイズが出る場合

1.電　源――――規定の電圧(**WA30**はAC100V，**WA30T**はAC24V)が供給されていますか。

2.入・出力端子――――入力と出力の引込線が逆に接続してありませんか。
VHF入力と，UHF・VU混合入力の引込線が逆に接続してありませんか。

3.入力切換・電流通過スイッチ――――正しく操作してありますか。(**WA30**は入力切換スイッチ)

4.利得調整ツマミ――――利得が最大(㊨へいっぱい回した状態)になっていますか。

5.引込線――――断線，または，ショートしていませんか。

6.入力レベルの測定――――実用入力レベルの範囲になっていますか。ブースターの入力端子からケーブルを外して，電界強度測定器で測定してください。レベルが低い場合は，アンテナの高さや設置場所を変えたり，高利得なアンテナに取り替えて，レベルを確保してください。

画面にビート縞，ワイパー現象が出る場合

1.利得調整ツマミ――――症状が消えるまで，ツマミを㊧へ静かに回してください。

2.アンテナの方向――――不要電波による混信がありませんか。方向を変えて画像が一番良好になるように調整してください。

3.入力レベルの測定――――実用入力レベルの範囲になっていますか。レベルが高い場合は，入力端子にアッテネーター(**ATT3・6・10・15・20fD** 各￥2,400)を使用して，最大入力レベル以下になるようにしてください。

以上の方法でも，トラブルが解決できない場合は，お近くの営業所か，本社技術相談にお問い合わせください。

規格表 Specifications

WA30・WA30T共通

MASPRO

項目 Items ＼ 帯域 Band	VHF Ch1〜3・FM	VHF Ch4〜12	UHF Ch13〜62
利得 Gain	20〜23dB	25〜28dB	30〜35dB
利得偏差 Gain Response Flatness	2dB以内	3dB以内	4dB以内
利得調整範囲 Gain Control Range	⊖10dB(連続可変)	⊖10dB(連続可変)	⊖10dB(連続可変)
雑音指数 Noise Figure	1.9〜3dB		
実用入力レベル Operating Input Level	●35(がまん限)〜70dBμ		
定格出力レベル Rated Output Level	95dBμ		100dBμ
混変調／相互変調 Cross Modulation Intermodulation	⊖40dB以下／⊖50dB以下		⊖40dB以下／——
ハム変調 Hum Modulation	⊖50dB以下		
VSWR	1.1〜3		
入力インピーダンス Input Impedance	75Ω(F型コネクター)		
出力インピーダンス Output Impedance	75Ω(F型コネクター)		
電源 Power Requirements	**WA30** 定格電圧 AC100V 50・60Hz 定格消費電力 4.7W **WA30T** AC24V 50・60Hz 0.17A		
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20〜⊕50℃(連続100時間，恒温槽テストによる)		
外観寸法 Dimensions	211(H)×170(W)×62(D)mm		
重量 Weight	**WA30**……約1.8kg， **WA30T**……約1.5kg		
シンボル Symbol	—▷—		

●最小入力レベル(がまん限)は，スノーノイズを完全に除去できませんが，実用になる限界です。

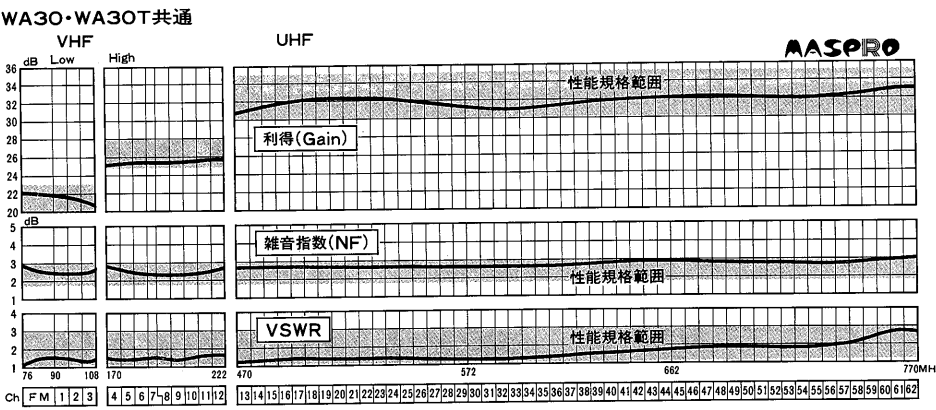
付属品

F型コネクター(プラグ**FP5**)……………3個
壁面取付金具……………………………1個
予備ヒューズ(**WA30**定格0.5A)…………1本
ビス(φ4.7×32mm 中径マスト用)………2本
〃 (φ4.7×50mm 太径マスト用)………2本
木ネジ(予備1本含む)……………………4本
防水キャップ(大)…………………………3個
〃 (小)…………………………1個

マスプロの性能表に絶対うそはありません。
保証します。

MASter of PROduction

周波数特性 Frequency Characteristics

WA30・WA30T共通

波形は，実測値の一例をそのまま記載したもので，作図はしてありません。

ブロックダイヤグラム WA30

Ch13〜62増幅部
UHF・VU混合入力端子
UHFパスフィルター
初段増幅回路
利得調整回路
中段増幅回路
終段増幅回路
UHFパスフィルター
避雷回路
出力端子
VHFパスフィルター
A(VU混合入力)
入力切換スイッチ
VHF入力端子
避雷回路
B(VとU別入力)
Ch4〜12増幅部
ハイバンドパスフィルター
利得調整回路
初段増幅回路
終段増幅回路
ハイバンドパスフィルター
VHFパスフィルター
FM・Ch1〜3増幅部
ローバンドパスフィルター
利得調整回路
増幅回路
ローバンドパスフィルター
電源部
電源トランス
整流回路
DC15V
AC100V

2K53-005

N・611-2005-3F

北見 旭川 釧路 札幌 函館 青森 秋田 盛岡 仙台 郡山 新潟 金沢 福井 宇都宮 水戸 前橋 大宮 松江 広島 徳山 神戸 姫路 岡山 下関 千葉 八王子 東京 横浜 北九州 福岡 名古屋 岐阜 津 松本 静岡 豊橋 京都 大阪 長崎 熊本 宮崎 鹿児島 高松 高知 松山 沖縄

営業窓口 TEL 名古屋(052)802−2244
技術相談 〃 (052)802−2211